

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		解剖生理学Ⅴ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎901教室
担 当 教 員		安藤 啓治	実務経験と その関連資格	診療放射線技師			
《授業科目における学習内容》							
解剖生理学では、診療放射線技師として医療にたずさわるために必要な生体の構造と機能、免疫システムについて学ぶ。特に重要と考えられる肉眼的解剖について、名称、形態、相互の位置関係等を修得する。解剖生理学Ⅴでは、病変を含む画像解剖を理解する。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
教科書:「入門人体解剖学」藤田恒夫 著 南江堂 使用教材:配付資料							
《授業外における学習方法》							
シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、使用教科書・教材等を用いて事前学習(予習・復習)すること。							
《履修に当たっての留意点》							
解剖生理学は医療従事者にとって必須の科目であり、臨床医学を学ぶ上での土台となります。また国家試験でも、幅広い知識が問われます。授業のみでは理解は深まりませんので、積極的に予習・復習を行う習慣を身につけましょう。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部領域における主な疾患画像についての知識を習得する。		配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	肺野部を中心とした疾患と画像①				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部領域における主な疾患画像についての知識を習得する。		配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	縦隔・乳腺部を中心とした疾患と画像				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部領域における主な疾患画像についての知識を習得する。		配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	腹部単純X線検査を中心とした疾患と画像				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部領域における主な疾患画像についての知識を習得する。		配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	消化管造影検査を中心とした疾患と画像①				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	腹部領域における主な疾患画像についての知識を習得する。		配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。	
		各コマにおける授業予定	腹部実質臓器を中心とした疾患と画像①				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部・頸部領域領域における主な疾患画像についての知識を習得する。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	脳・頭蓋骨・頭頸部を中心とした疾患と画像		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨・関節領域における主な疾患画像についての知識を習得する。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	四肢骨における外傷性疾患・腫瘍性・非外傷性疾患と画像		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨・関節領域における主な疾患画像についての知識を習得する。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	脊椎・脊髄における疾患と画像		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる胸部・腹部単純X線検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	演習問題(基本偏)とその解説		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる胸部・腹部単純X線検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	演習問題(応用偏)とその解説		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる骨・関節単純X線検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	演習問題(基本偏)とその解説		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる骨・関節単純X線検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	演習問題(応用偏)とその解説		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる上部・下部消化管造影検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	演習問題とその解説		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できる各種造影検査・乳腺検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	演習問題とその解説		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に対応できるIVR・血管造影検査・眼底検査画像を読み解く力を身につける。	配付資料	配付資料の復習を必ずおこなうこと。講義で配布する資料のみではなく、教科書等を用いて理解を深めること。
		各コマにおける授業予定	演習問題とその解説		